２０１７年　１月　１５日

主　日　礼　拝

	①８時半～	②１０時半～	③夜７時～
司　　会	①石井師	②久保　寿一兄	③石井師
奏　　楽			
祈　　祷	①石井師	②白川　達男兄	③石井師

賛　　美　　聖歌５８８番 ＆「主の導きの中を」
使徒信条
聖　　書　　ヘブル人への手紙１０章３５～１１章６節
特別賛美　　宮川由起子姉
メッセージ　「拉致されたルターにも希望実現」
大川　従道 牧師

献　　金　　聖歌４７２番　　［献金当番：和田姉・青木姉］
祝　　祷
お知らせ　　【司会者】
賛　　美　　「喜びがある」

礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします！

《今週のお知らせ》

１．本日午後１時～、執事会を行います。年間計画について（昼食なし）。
２．今週の祈り会は、①木曜は午前 10 時半～,②夜７時半～, メッセージは、倉知契先生(大和祈祷会映像)。③土曜夜８時～，準備祈祷会（石井牧師）。
３．木曜午後２時半～、上田市大手の石井兄姉宅にて家庭集会があります。
４．来週の日曜午後は、西田先生による新年初の聖歌隊の練習が行われます。

1/23(月):長野家庭集会　26(木):WOGA 集会(ルリ子師･10 時半)
29(日):映画「祈りの力」

一年に一回聖書を完読できる！*Bible Reading Plan*〔1/15～/22〕

date	本日		月		火		水		木		金		土		日	
旧約	創世記36･37章		38－40章		41章		42･43章		44･45章		46－48章		49･50章		出エジプト1－3章	
新約	マタイ12:1－21		12:22－50		13:1－32		13:33－58		14:1－21		14:22－36		15:1－20		15:21－39	
チェック	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新

「勇気を持って胸を張って」

～クリスチャンとして妥協せずに歩むために～

「あなたがたは、この世では悩み（患難･苦難）がある。しかし、勇気（元気）を出しなさい（喜んでいなさい･生き生きとしていなさい･朗らかでありなさい）。わたしはすでに世に勝っている。」　　ヨハネによる福音書１６章３３節

私たちの国日本では、信教の自由が与えられています。ですから、クリスチャンとしての公の迫害は戦後日本ではありえませんが、政教分離とはいってもその実、政治の世界ではある限られた宗教団体が大いに幅をきかせています。そんな日本ですから、やはり、クリスチャンとして生きていくことは即、息苦しいものとなっています。はっきりとした迫害のあるお隣の中国よりも実はたちが悪いように感じます。

新年に送られてきたアルゼンチン在原宣教師のニュースレターの中に、先生の献身のきっかけとなったある出来事について記されていました。

在原先生が学生時代に出会ったクリスチャンの先輩は、大学４年の就職活動の時、自分の信仰を貫くために、面接時に「クリスチャン」「日曜日は礼拝厳守」を宣言しながら、「自分は人生で第一にすべきものを第一として厳守したいと思います」と発言し続け、見事、次々に面接で落とされ続けました。そんな先輩に友人たちは「お前は信仰さえ口にしなければ合格できたのに…。クリスチャンであることをこれからは黙っていろ」と言いましたが、自分の確信に立ち続けるために、頑固に断り続けました。そんな状況の中で、７社目の面接でも同じことを答えたところ、中央で目をつぶり腕組みをしていた社長がいきなり目を開き「ギョロリ」と鋭い目で見るなり、「君の入社を許可する」と宣言しました。しかし、その他の面接した重役たちがざわめいていると、その社長が「ドーン」とこぶしで机を叩いて、「黙れ、わしが社長だ。わしの目に狂いはない。わしはこういう男を探していたんだ･･･」。社長のこの一言で入社が決定したそうです。クリスチャンでもないこの社長は「確信」を内に秘め、「命がけ」で生きる人物を探し求めていたようです。この社長の決断に、この先輩は「たとえ中小企業であっても、この社長の下でなら命がけで働ける」と思ったそうです。

私たちはこの世で、クリスチャンとして、信仰者としてその生き方を貫いていくことは並大抵なことではないかもしれませんが、私たちの主はそのことを良くお分かりです。そのために、主は十字架にかかって死に、そして、その死を打ち破って復活してくださいました。これほどの働きをなさったのは、私たちもその並大抵ではないこの世の中の戦いで、決して妥協することなく、真直ぐに福音の道を進んでいくためでした。

この世の人々のように栄誉を得ることはないかもしれませんが、主が私たちの受ける報いであり、やがて天において栄冠を与えられることを夢見ながら共に進んでいきましょう！